

特集 「1日エコライフ」・「節約ライトダウン」報告……P4

近江日野商人と花のまち 日野

日野町の歴史

滋賀県の南東部、霊峰・綿向山を東に望む日野町は、町の花である「ほんしゃくなげ」が咲き誇る、無限の大地が育んだ自然環境に恵まれた町です。室町時代には蒲生氏の城下町となって大きく変貌を遂げ、商工業の保護・育成に努力し、鉄砲や鞍などを特産品として生み出してきました。その蒲生一族の中で、今も日野の人々の心に生きているのが蒲生氏郷公で、信長の娘冬姫を妻とし、その後秀吉に従った氏郷は産業政策においても秀でており、日野に楽市楽座を開きました。江戸時代に入って、漆器や薬売りの行商から発展した日野の商人は近江商人の基礎を確立し、その中心の町として繁栄し、全国各地に商圏を伸ばす近江日野商人として有名になりました。



まいごいごまいごの里で農業体験しました！

生産者交流

～JAGグリーン近江さんによる 日野町で 田植えと稲刈り～

滋賀県では、環境に配慮した農産物づくりとして、県の「環境こだわり農産物」に取り組んでいます。お米では環境こだわり米として取り組み減農薬減化学肥料で栽培を行っています。また、琵琶湖の自然環境を守るための栽培管理にも努力し、安全で安心なお米作りを目指して取り組んでいます。《よどがわ》では、毎年JAGグリーン近江さんのご案内で日野町に田植え・稲刈り体験を行っています。お米の品質のよさお米づくりの作業と、生産者の気持ちに触れること、おいしいお米と安全・安心な食生活を考えてみる機会になります。

『誰がどのようにつくって』『誰が食べているのか』

気持ちをつなぐ生産者との交流会



田植え

5月に行っている田植えバスツアーは、お子さんの体験学習として好評です。初めて入る水の



泥の感触が少し冷たくて気持ちよかったです

入った田んぼの気持ち良さに、驚きと楽しい声が入り、田んぼの中を泳ぐカエルやオタマジャクシに、お子さんの歓声があがりました。減農薬だからこそ生物との出会いがあり、その田んぼで育ったお米を食べるといって、安全安心な食べ物の成り立ちを、親も子も体感できました。



稲刈り

9月10日(土)に稲刈りバスツアーで再び日野町を訪れました。生産者の方に刈り方を教わっ



かまを使うのが楽しかった♪

てから、みんなで5月に田植えをした稲をいっせいに刈り始めました。当初は田の半分を手で刈って、残りをコンバインで刈る予定が、みんな夢中で刈り続け、気がつけばほとんどの稲を手で刈っていました。その他に芋掘りを行い、お昼ご飯に豚汁と、みんなでぎつた新米のおにぎり、そして日野菜の漬物をおいしくいただきました。米一粒ずつの大切さを実感し、生産者のご苦労と食べ物の大変さを実感できる場となりました。

体験してきまシタ!

田植えは今回で3回目ですが、新鮮でした。楽しかったです!

蛙つかまえてくれたこと、きれいな石を拾ったこと、生き物が見れたことが楽しかった。また田植えに行きたいです。



体験してきまシタ!

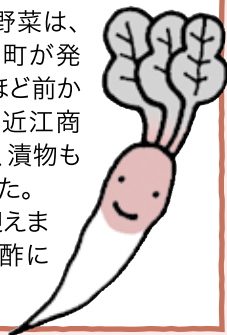
春に植えたイネが立派に育っていたのに感動!! それを収穫(イネ刈り)できたのだから、子どもと一緒にいっぱい楽しめました。お米もおいしく、日野町の人々のあたたかさに感謝です。



特産品

色鮮やかな『日野菜漬け』

日野菜漬けに使う日野菜は、文字通り滋賀県の日野町が発祥地で、今から500年ほど前から栽培されていました。近江商人の町ということもあり、漬物も全国に広がっていきま。秋から冬にかけて旬を迎えます。塩漬けにした後、甘酢に漬けるよび漬けです。



緑と食の体験施設も

滋賀農業公園

ブルームの丘

中世ドイツの農村を思わせる公園で、花の丘として四季を通じて花が楽しめるほか、パンやソーセージづくりの体験や、近江牛のバーベキューを堪能するなど、家族揃って大いに楽しめます。

滋賀県蒲生郡日野町西大路 864-1
<http://www.blumenooka.jp/top.html>

グリム冒険の森

森林の持つ多面的な役割を多くの人々に知ってもらうために設置したもので、コテージやバンガロー、オートキャンプ場のほかにも野外ステージや森林浴ができる散策道もあります。

滋賀県蒲生郡日野町熊野431
<http://www.ex.biwa.ne.jp/~grimm/>

お近くに来られた際にぜひ!



●無洗米近江こしひかり 環境こだわり米

●滋賀県産 こしひかり

